

作成日：2022年03月01日

改訂日：

安全データシート（SDS）

1. 化学品及び会社情報

製品名：俺のワックス 赤プラス
販売会社：大一産業株式会社
住所：兵庫県神戸市中央区元町通5-1-20/〒650-0022
電話番号：078-361-7091

製造会社：シーバイエス株式会社
住所：神奈川県横浜市中区山下町22番地 山下町SSKビル/〒231-0023
担当部門：カスタマーテクニカルセンター
電話番号：045-640-2280
FAX番号：045-640-2216
推奨用途：水性フローポリッシュポリマータイプ、屋内化学床用
使用上の制限：推奨用途以外には使用しない
整理番号：6051706

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類

物理化学的危険性	該当情報なし
健康有害性	該当情報なし
環境有害性	該当情報なし

※上記で記載がない危険有害性は、分類できないか区分に該当しない

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル	なし
注意喚起語	なし
危険有害性情報	該当情報なし
注意書き	該当情報なし

重要な徴候及び想定される非常事態の概要

人の健康に対する有害な影響

- ・ 吸入した場合、刺激性は弱い。
- ・ 皮膚に付着した場合、刺激性は弱い。
- ・ 眼に入った場合、刺激性は弱い。
- ・ 飲み込んだ場合、有害性は低い。

環境への影響

- ・ 大量に流出した場合は、水生生物に対して影響を及ぼす。

物理的及び化学的危険性

- ・ 不燃性であり、引火・発火性などの危険性はない。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

成分	CAS RN®	官報公示整理番号 化審法・安衛法	濃度又は濃度範囲 (%)
金属架橋型アクリルスチレンコポリマー	非公開	非公開	非公開
アルカリ可溶性樹脂	非公開	非公開	非公開
高融点ポリオレフィンワックス	非公開	非公開	非公開
可塑剤	非公開	非公開	非公開
グリコールエーテル系溶剤	非公開	非公開	非公開
界面活性剤	非公開	非公開	非公開
水	7732-18-5	—	非公開

- ・ 内分泌かく乱作用を有すると疑われる化学物質：環境省「環境ホルモン戦略計画SPEED' 98」（2000年11月版）で示された物質（65種類）を使用しない。

4. 応急措置

- 吸入した場合 : ミストを吸い込んだときは、直ちに新鮮な空気の風通しのよい場所に移動し、鼻をかんだり、よくうがいをする。何らかの異状を感じたときは、直ちに医師の処置を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 流水でよく洗い流す。衣服や靴などに付いたときは、すみやかに脱ぎ皮膚を流水でよく洗い流す。何らかの異状を感じたときは、直ちに医師の診断を受ける。
- 眼に入った場合 : 直ちに流水で15分以上洗い流す。コンタクトレンズは外す。その後、直ちに医師の処置を受ける。
- 飲み込んだ場合 : 直ちに水で口の中を洗浄し、コップ1～2杯の水または牛乳を飲ませて、直ちに医師の処置を受ける。無理に吐かせようとしない。意識のないときは口から何も与えない。ただし、牛乳アレルギーの人には牛乳を与えない。
- その他 : 使用中、眼に異状を感じたり、せき込んだり、気分が悪くなったときは、直ちに使用を止めてその場から離れ、洗眼、うがいをする。その後、直ちに医師の処置を受ける。

いずれの場合も、医師への受診時には製品または安全データシートを持参する。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 水、泡、粉末、二酸化炭素などの一般消火剤が使用できる。
- 使ってはならない消火剤 : 情報なし
- 火災時の特有の危険有害性 : 情報なし
- 特有の消火方法 : 周辺火災の場合はすみやかに安全な場所に移す。
移動ができない場合は、風上より容器周辺に散水して冷却する。
- 消火活動を行う者の特別な保護具及び予防装置 : 消火作業では適切な保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 適切な保護具（保護眼鏡、保護手袋、保護靴、保護衣、保護マスク等）を着用する。
漏出場所の周辺にロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。
- 環境に対する注意事項 : 雨水溝、河川、海上などに多量に排出されないように注意する。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材 : スクイジーなどを用いてできる限り空容器などに回収する。
少量の場合は、ウエス、モップ、吸着マット、砂等でできるだけ素早く吸い取った後、十分に水洗いすること。
多量の場合は、土のうなどで流出を防いだ上でポンプを用いて吸い取る。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い（技術的対策／安全取扱い注意事項／接触回避／衛生対策）

- ・ 作業や製品容器の取扱い時は必ず適切な保護具（保護眼鏡、保護手袋、保護靴、保護衣、保護マスク等）を着用する。
- ・ 荒れ性の方や長時間作業する場合はゴム手袋を着用する。
- ・ キャップを開けるときの液が飛び出すことがある。また、容器を移動するときはキャップをしっかり閉める。緩んでいると液が跳ねて眼や皮膚に付くことがある。
- ・ 液が皮膚や眼、口などに付着しないように注意する。
- ・ 用途以外には使用しない。
- ・ 他の薬剤、洗浄剤などとは絶対に混ぜたり併用しない。
- ・ 小分けする場合は専用容器を使用する。誤飲等事故のおそれがあるので、飲料用の容器を含む他の容器に移し替えたり小分けしない。
- ・ バクテリア汚染を避けるため、一度容器から出した場合、液をもとの容器に戻さないこと。
- ・ 取扱いの都度、容器を密閉すること。
- ・ 使用後は、手を水でよく洗う。
- ・ 倒したり、こぼしたりしないように注意する。
- ・ 使い終わった容器は、十分に洗ってから処理する。

保管（安全な保管条件／安全な容器包装材料）

- ・ 直射日光、40℃以上、多湿及び凍結のおそれのある場所を避けて密閉して保管する。
- ・ 子供の手の届かないところに保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度：設定されていない。

許容濃度：設定されていない。

設備対策：ミスト、蒸気などが滞留しないように局所換気装置または全体換気装置を設置する。

保護具

呼吸器用保護具	： 保護マスク
手の保護具	： 保護手袋（ゴム手袋など）
眼、顔面の保護具	： 保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具	： 保護靴（ゴム長靴など）、保護衣

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	： 液体
色	： 乳白色
臭い	： 特異臭
pH	： 7.4（25℃）
密度及び ／又は相対密度	： 1.03（20℃）
動粘性率	： 5.6 mPa・s（25℃）
不揮発分	： 22.0%
溶解度	： 水に分散する
融点／凝固点	： 0℃以下
沸点又は初留点及び 沸騰範囲	： 90℃以上
引火点	： なし（不燃性）
可燃性	： データなし
爆発下限界及び爆発 上限界／可燃限界	： データなし
蒸気圧	： データなし
相対ガス密度	： データなし
n-オクタノール ／水分配係数	： データなし
分解温度	： データなし
自然発火点	： データなし
粒子特性	： データなし

(注) 数値はいずれも代表値で表示

10. 安定性及び反応性

反応性	: 通常取り扱い条件においては危険な反応を起こすおそれはない。
化学的安定性	: 通常取り扱い条件（屋内、常温）においては安定である。
危険有害反応可能性	: データなし
避けるべき条件	: 直射日光、40℃以上、多湿、凍結条件下、開放状態
混触危険物質	: 特になし
危険有害な分解生成物	: データなし

11. 有害性情報

急性毒性（経口）	: 使用原料の加算式判定の結果より、区分に該当しないとした。 LD50 > 2000mg/kg
急性毒性（経皮）	: データ不足のため分類できない。
急性毒性（吸入：ガス）	: 区分に該当しない（分類対象外）
急性毒性（吸入：蒸気）	: データ不足のため分類できない。
急性毒性（吸入：粉じん・ミスト）	: データ不足のため分類できない。
皮膚腐食性/刺激性	: データ不足のため分類できない。
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: データ不足のため分類できない。
呼吸器感作性	: データ不足のため分類できない。
皮膚感作性	: データ不足のため分類できない。
生殖細胞変異原性	: データ不足のため分類できない。
発がん性	: データ不足のため分類できない。
生殖毒性	: データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	: データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	: データ不足のため分類できない。
誤えん有害性	: データ不足のため分類できない。
その他	: データなし

12. 環境影響情報

生態毒性	: データなし
水生環境有害性 短期（急性）	: データ不足のため分類できない。
水生環境有害性 長期（慢性）	: データ不足のため分類できない。
残留性・分解性	: データなし
生体蓄積性	: データなし
土壤中の移動性	: データなし
オゾン層への有害性	: データなし
他の有害情報	: BOD 7,800mg/kg (JIS K 0102) COD 110,000mg/kg (JIS K 0102)

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報	
残余廃棄物	: 下水道以外の河川等、公共水域への排出は絶対に避ける。 廃棄処理をするときは適切な保護具を着用する。 関連法規ならびに地方自治体の基準に従い適正に処理する。必要に応じて、都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者にて委託処理をする。
汚染容器、包装	: 関連法規ならびに地方自治体の基準に従い適正に処理する。必要に応じて、都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者にて委託処理をする。

14. 輸送上の注意

国連番号	: 該当しない
品名（国連輸送名）	: 該当しない
国連分類	: 該当しない

